

「芽生えている新しいこと」(2018.1.21)

あけましておめでとうございます。横手教会に赴任して初めて皆さんと共に新しい年に踏み出すことができました。皆さんの祈りとお心遣い、ご協力に対して、心から感謝申し上げます。今年も祈りと御言葉に専念して、横手教会に仕えていきたいと決意しております。主にあってよろしくお願い致します。

1月2日、大曲のイオンに行きましたら、イベント広場で男鹿の若者グループ「恩荷(おんが)」がナマハゲに扮して演技し、太鼓を叩いて男鹿温泉郷の宣伝をしていました。ナマハゲの迫力と和太鼓がコラボして、また彼らの熱情が太鼓の響きと一緒に伝わってきて、感動しました。こんなに自分の故郷を元気づけ楽しい町にしようと頑張っている若者がいることに驚きました。同時に太鼓にはこんな魅力があるんだと知らされました。



また、横手市報1月号にも驚かされました。なんと表紙が漫画で覆われ、真ん中に「漫画のまち横手、新たな挑戦」とドンとアピールしていました。思わず内容を全部読んでしまいました。釣りキチ三平の矢口高雄さんをはじめ4人の漫画家と高橋大市長の対談が書かれていました。漫画の魅力を活かして地域おこしをしたいという斬新なチャレンジに、たいしたもんだなあ、と感心しました。



神様は私たちにみ言葉をくださっています。イザヤ 43:19 です。週報の表紙にプリントされています。「43:19 見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。」私たち一人ひとりの心の中に、神様は新しいことを芽生えさせています。一人ひとりの心に芽生えたものを合わせると、荒れ野だったところに道が、砂漠だったところに大河が現れるという約束です。

男鹿の若者、横手の市報が新しいものにチャレンジしています。私たちも神様の促しにしたがって、芽生えている新しいことが何か、お互い共有してチャレンジしていくべきではないでしょうか。3月11日、教会懇談会があります。横手教会が御心に添って形成され、大きく成長するために互いの心に芽生えていることを分かち合いませんか。